



このマークは社会福祉協会の「社」を図案化し、「手をとりあって、明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第117号
平成28年1月20日発行
発行・編集

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <http://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com



年頭のごあいさつ

社会福祉法人いわき市社会福祉協議会

会長 強口暢子

新年おめでとうございます。
皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日頃より本会の福祉活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
本年も市民の皆様とともに、関係機関等と協働し、さらに地域福祉の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。
皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。



夏井川に飛来した白鳥

目次

年頭のごあいさつ	1
小地域福祉活動	2
ボランティア活動センター通信	3～4
ご利用ください！社協のサービス	5～6
社協通信	7
地区協議会だより	8



社協のイメージキャラクター「ふくみちゃん」

小地域福祉活動

小地域福祉活動とは？

地域の身近な福祉課題を共通テーマとして住民組織が解決に向けて協働しながら進める活動で、この活動の基盤となる福祉コミュニティづくりと住民相互が支え合う自主的な活動が小地域福祉活動です。

本事業では、地域の既存の団体や組織を基盤とし、地域の福祉課題にそった活動計画や援助計画に基づいて、地域福祉活動を進めます。

また、「小地域福祉活動指定行政区連絡会」を年1回開催し、指定地区間の交流や情報の交換を図ることも、さらなる効果的な事業の取組みができるよう努めています。



主な活動内容

- ◆ 交通事故防止運動
- ◆ 子育てサロンの開催
- ◆ 防犯・防火運動
- ◆ 介護講習の開催
- ◆ 高齢者と子どもの交流活動
- ◆ 介護者リフレッシュの集いの開催
- ◆ 障がい者との交流
- ◆ 励ましや話し相手などの友愛訪問活動
- ◆ 高齢者ふれあいの集いの開催
- ◆ 文化・スポーツ活動
- ◆ 介護講習会の開催
- ◆ 草刈りや清掃活動
- ◆ 地域福祉マップの作成
- ◆ 防災訓練研修会の開催

地区名	指定地区	指定年度	地区名	指定地区	指定年度	
平	平25区区内会	26年度～28年度	遠野	大平行政区	26年度～28年度	
	平第14区	27年度～29年度		根岸行政区	26年度～28年度	
	神谷作区	27年度～29年度		片石田区	27年度～29年度	
小名浜	久保第1区	26年度～28年度	小川	福岡区	27年度～29年度	
	鹿島台団地区	27年度～29年度		久保・源平野地区	25年度～27年度	
	東鹿島区	27年度～29年度		権現堂・仲組区	25年度～27年度	
勿来	小名田地区自治会	25年度～27年度	好間	渡戸区	26年度～28年度	
	なこそ中田地域づくり協議会	26年度～28年度		三和	合戸区	26年度～28年度
	窪田地区振興会	27年度～29年度		田人	入旅人大字区	26年度～28年度
小野田行政区	25年度～27年度	南大平区	26年度～28年度			
希望ヶ丘第1自治会	26年度～28年度	川前	川前町第2区		26年度～28年度	
西郷町	27年度～29年度		川前町第5区	26年度～28年度		
内郷	高坂9区		25年度～27年度	久之浜・大久	金ヶ沢自治会	25年度～27年度
	綴3区	25年度～27年度	小山田区		25年度～27年度	
	宮2区	26年度～28年度	合計			31カ所
四倉	四倉町第14区	25年度～27年度				
		柳生区	25年度～27年度			

▼ 活動紹介 ▼

小名田地区自治会(勿来) 区長 武田 征也

小名田地区自治会は、平成25年度から指定を受け3年目を迎えました。自治会内には高齢者支援委員会・青少年育成委員会・子供会等があります。高齢者支援委員会では、いきいきデイクラブでの健康体操、看護師による健康チェックを行います。子供会では年5回ちびっこ広場の草むしりを実施しています。その他、福祉施設と合同で避難訓練を行うなど、世代間交流を図っています。



この他にもさまざまな取り組みを行っています。詳しくは、地域福祉課 ☎23-3320(代)まで

ボランティア活動センター通信

0246プロジェクト

参加者募集!

いわき市ボランティアフェスティバル
～いわきのこれからを共に考えよう～を開催します!

いわき市のボランティアについて考えることをテーマに、「いわき市ボランティアフェスティバル」を開催します。これまで頑張った、今頑張っている、そして、これからボランティアをしてみようと思う皆さん、一緒にいわきのボランティアについて考えてみませんか?

- ★日時：平成28年3月13日（日）10：00～15：00
- ★場所：いわき市社会福祉センター 5階 大会議室
- ★参加費：無料
- ★内容：

- 1) 第25回サマーショートボランティアスクール
感想文コンクール表彰式
- 2) 記念講演
演題「(仮)市民主体の365日型活動のまちづくり」
講師：西村 ミチ江 氏
塙山学区住みよいまちをつくる会 会長
※記念講演は、申し込みとなります。
(先着250名)
- 3) ボランティア交流会（活動紹介）
～ボランティアにふれてみよう～
- 4) パネルトーク
「(仮) 支え合い・助け合いを広げる方法について」
- 5) エンディング



昨年度の様子

美味しい炊き出しも準備しています



● 問合せ・イベントの申し込み先 ●

イベントの申し込みについては、住所・氏名・電話番号をご記入の上、郵送・FAX・Eメール・電話でお申し込みください。
〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3
TEL 38-6631 Fax 38-6632
Eメール saigai-vc@iwaki-shakyo.com

子育てサロンボランティア研修会を開催しました!

平成27年11月13日（金）市内22箇所の「子育てサロン」にご協力いただいているボランティア41名（民生児童委員、主任児童委員、地域ボランティア）を対象に研修会を開催しました。

今回は、サロンで活用できるようにと地域子育て支援拠点事業カンガルーひろばの保育士を講師に、「工作」と「手遊び」の講習、後半では意見交換会を実施しました。

工作は、折り紙でできる簡単な動物の折り方やこれから迎えるクリスマスにちなんだり、リース作り、手遊びでは、なじみのある手遊びをはじめとする様々な曲が披露され、参加者は実際に手や体を動かしながら、熱心に手

法の習得に励んでいました。

意見交換会では、他地区の取り組みを知ること、そして自分たちのサロンを振り返ることでさらに良いサロンにしたいという思いが強まったようです。

参加者からは、「今日学んだことを活用できるように頑張りたい」「知らなかった手遊びもあって、楽しかった」などの声がありました。



ボランティアに関するお問合せ先：いわき市ボランティア活動センター ☎38-6631まで

いわき市ボランティア基金助成結果報告

本会は、いわき市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成・助長することを目的に「**いわき市ボランティア基金**」を設置しています。

これまで、ボランティア活動のための研修会、資機材の整備、福祉教育活動などさまざまな分野へ幅広く助成金を配分しています。

◆ボランティア基金造成額

5億51万6,163円
(平成27年3月31日現在)

◆平成27年度までの助成実績

- ・助成団体数 344団体
- ・助成総額 8,222万7,113円

【平成27年度助成結果】 14団体 総額275万9,000円

助成団体名	助成額	事業内容
いわき転入女性の会	64,000円	転入女性への情報提供と交流会・子育て支援事業
いわきふれあいサポート	66,000円	啓発活動に必要なパンフレット等増印刷事業
いわき市ボランティア連絡協議会	139,000円	広報紙発行事業と講演会・交流会開催事業
ボランティアグループ ラ・エトワール	140,000円	音楽ボランティアに必要な音響機材等整備事業
要約筆記いわきサークル	167,000円	要約筆記活動に必要な機材整備事業
勿来地区ボランティア連絡会	197,000円	広報活動に必要な広報紙発行・機材整備事業
特定非営利活動法人 はちみつ	200,000円	音楽ボランティアの広報活動に必要な広報紙発行等事業
子育てサポーターのつどい★てんしのほほえみ★	200,000円	読み聞かせ活動に必要な大型絵本整備事業
特定非営利活動法人 めんたるサポートBig Bear ふくしま	200,000円	音楽療法活動及び傾聴カウンセリングに必要な機材整備事業
特定非営利活動法人 Commune with 助産師	200,000円	家庭訪問型子育て支援ホームスタート事業に伴う機材整備事業
特定非営利活動法人 ツークンフト ロカール	200,000円	東北・げんKidsプロジェクト ～Mit Ball Spass～ in いわきの活動に伴う機材整備事業
特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター	200,000円	病児・障がい児を含む子ども一時預かり拠点整備・組織基盤強化事業
視覚障害者サポートグループ ゆかり	200,000円	視覚障がい者サポーター講座等開催事業費
いわき市社会福祉協議会 ボランティア活動センター	586,000円	いわき市ボランティアフェスティバル開催事業及びボランティア活動保険助成事業

ボランティア基金助成金配分を受けて

子育てサポーターのつどい★てんしのほほえみ★

代表 関根 美菜子

私たちは平成22年度の子育てサポーター養成研修会を受講し、いわき市教育委員会より子育てサポーター認定書を受けた者が集まり子育て支援を目的に結成しました。主な活動は乳幼児を対象に「ままとこクラブ」と「おはなしあそび」を行っています。

この度のボランティア基金の助成により、「おはなしあそび」の活動に必要な読み聞かせ用大型絵本を

購入することができました。

乳児も幼児も大きな絵をじっと見てお話を聞き、時には指をさしたり、近づいて絵本に触れたりしながら楽しんでいます。

子どもやママたちが大型絵本を通して楽しんでいく姿は、私たちにとりましても幸せなことです。今後も、子どもたちの笑顔が溢れるような活動を続けていきたいと思ひます。





ご利用ください!

社協のサービス

いつでも 気軽に 福祉総合相談センター

相談名	電話番号	相談日	相談時間	内容
心配ごと相談	24-4850	月・火・木・金曜日	10:00～12:00 13:00～15:00	ちょっとした悩みから、日常生活のあらゆる相談
ふれあい福祉相談	各地区協議会	月～金曜日	8:30～17:15	福祉のなんでも相談
法律相談（要予約）	23-3320	第1水曜日	13:00～16:00	財産、離婚等の法律全般の相談
福祉の仕事相談	23-3320	第2水曜日	10:00～15:00	福祉の仕事に関する求人・求職・就労斡旋の相談
権利擁護相談	23-3320	月～金曜日	8:30～17:15	福祉サービス等の利用や金銭管理にともなう相談
ボランティア相談	38-6631	月～金曜日	8:30～17:15	ボランティア全般の相談

在宅福祉サービス

要介護・要支援認定を受けた方が、安心して在宅生活を送ることができるように、このような事業を行っております。どうぞご利用ください。



訪問介護サービス

訪問介護員（ヘルパー）がご自宅を訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護や、調理・洗濯掃除等の家事を行います。その人らしく、生き生きとした生活が送れるよう支援します。



居宅介護支援サービス

ご本人やその家族が安心して福祉サービスを利用できるように、介護支援専門員（ケアマネージャー）が本人・家族の希望などを伺い、本人の心身の状況にあったプランを作成し、サービス事業所と調整します。



訪問入浴サービス

移動入浴車で3名のスタッフが家庭を訪問し、ご本人に最適な方法で入浴、洗髪などを行います。入浴の前後に看護師による健康チェックを行います。訪問入浴サービスは、お部屋まで浴槽を運ぶので、移動などの負担も少なく寝たきりの方も安心して入浴できるサービスです。



湯本温泉を利用しています

サービスを利用するには？

- *ホームヘルプセンター（☎35-2822）までお気軽にご相談ください。
- *要介護・要支援認定を受けている方は介護支援専門員（ケアマネージャー）へご相談ください。

いわき市屋内遊び場

本市では、子ども達が天候に左右されずのびのびと安心して遊べる場として、市内3箇所に小学校低学年までを対象に無料で利用できる屋内遊び場を設置しています。このうち、本会では「いわきっず ふるふる」「いわきっず もりもり」の2箇所の管理運営事業を受託しています。

ご利用の際には、保護者(扶養者または20歳以上の方)の同伴が必要(保護者1名につき児童3名まで)となりますが、どなたでもご利用いただける施設です。お気軽にご利用ください。



いわきっず ふるふる



所在地：錦町細谷102番地 いわき市南部アリーナ内
 定休日：毎週月曜日(振替休日の場合はその翌日)
 12月29日～1月3日
 問合せ先：080-2820-2626 (開放日及び開放時間内)
 開所時間：9:30～16:00(祝休日は16:40まで)※入替制

所在地：常磐湯本町向田18番地の2
 いわき市石炭化石館(ほるる)内
 定休日：毎週火曜日(振替休日の場合はその翌日)
 12月29日～1月3日
 問合せ先：080-2842-0303 (開放日及び開放時間内)
 開所時間：9:30～16:00(祝休日は16:40まで)※入替制



いわきっず もりもり

教育支援資金のご案内

高校、専門学校、短大、大学等の進学にあたって経済的にお困りの方に、生活福祉資金の「教育支援資金」を貸付します。

＊ご利用いただける世帯

収入が一定基準以下で、他の貸付制度(国の教育ローン・母子父子寡婦福祉資金・日本学生支援機構の奨学金等)を利用することが困難な低所得世帯

＊貸付利率 無利子

＊連帯保証人 原則として1名、65歳以下の県内居住者

＊償還期間 卒業後6カ月以内の据置期間経過後、20年以内

その他の生活福祉資金のお問い合わせは
お住まいの地区の社会福祉協議会まで

貸付種類	対象経費	貸付限度額
①教育支援費	修学に必要な経費 授業料・参考書・学用品・交通費(通学定期代)・アパート家賃など	①高等学校(専修学校高等課程含む) 月額35,000円以内 ②高等専門学校 月額60,000円以内 ③短期大学(専修学校専門課程) 月額60,000円以内 ④大学 月額65,000円以内
②就学支度費	入学に際し必要な経費 入学金・制服・教科書等で入学時に納入する経費等	500,000円以内

地区名	問い合わせ先	電話番号
平	平地区協議会	22-6441
小名浜	小名浜地区協議会	54-2111(代)
勿来	勿来地区協議会	63-2111(代)
常磐	常磐地区協議会	43-2111(代)
内郷	内郷地区協議会	27-8707
四倉	四倉地区協議会	32-2114(代)
遠野	遠野地区協議会	89-2111(代)
小川	小川地区協議会	83-1111(代)
好間	好間地区協議会	36-2221(代)
三和	三和地区協議会	86-2111(代)
田人	田人地区協議会	69-2111(代)
川前	川前地区協議会	84-2111(代)
久之浜・大久	久之浜・大久地区協議会	82-2111(代)

第41回

いわき市総合社会福祉大会を開催!

社協通信



代表受賞者より清水市長・強口会長へ謝辞
(福島県立平工業高等学校生徒会)

福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を総合的に高めていく「いわき市総合社会福祉大会」(主催=いわき市・いわき市社会福祉協議会)を、平成27年10月21日(水)いわき芸術文化交流館アリオスで開催しました。

大会の席上、本市の福祉向上発展に多大な活躍をされた方々に表彰を行いました。

【市長感謝】	67名
【大会会長表彰】	136名 2団体
【大会会長感謝】	46名 7団体

また、本大会において次の大会宣言が採択されました。

- 1 誰もが住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活を送れるよう、小地域福祉活動を拡充し、地域住民がお互いに支え合うまちづくりを進めましょう。
- 1 すべての人が、権利を侵害されることなく、地域で自立した生活を送れるよう、権利擁護のための取り組みを推進しましょう。
- 1 すべての子どもが、より良い環境のもとですこやかに成長できるよう、地域ぐるみで子ども・子育てを支援しましょう。
- 1 高齢者やひとり親家庭などが孤立することなく、安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携による地域福祉活動を強化しましょう。
- 1 すべての障がい者が、社会で支え合いながら、共に暮らせる地域づくりを進めましょう。
- 1 生活に困窮する世帯が、安定した生活を送ることができるよう、関係機関等が連携し、自立に向けた早期支援ができるしくみづくりを進めましょう。
- 1 介護保険施設・福祉施設と地域住民との交流を深め、在宅福祉活動の拠点としても活用されるよう、地域ぐるみで支え合いましょう。
- 1 市民の社会福祉に対する理解と関心を高め、ボランティア活動への積極的な参加を進めましょう。
- 1 共同募金が、社会福祉の増進に果たす役割と使命を理解し、募金活動をさらに進めましょう。
- 1 東日本大震災からの一日も早い復興を目指して、地域住民が協働し、新たな地域コミュニティの構築に取り組みましょう。

第69回福島県社会福祉大会が 会津若松市で開催されました!

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、「第69回福島県社会福祉大会」が平成27年10月15日(木)会津風雅堂で開催されました。

式典では、県内の福祉向上に多大な貢献をされた方々の表彰が行われ、本市からは91名6団体が表彰されました。



大会に参加した本会役員

【知事感謝】	71名	2団体
【大会会長表彰】	18名	
【県社協会長表彰】	1名	1団体
【県社協会長感謝】	1名	3団体

軽自動車[※]が寄贈されました!

平成27年11月5日、生命保険協会福島県協会様より軽自動車をいただきました。

今後、地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。



寄贈式の様子

地区協議会だより

いわき市社会福祉協議会は、市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

◆平地区協議会 (青少年福祉体験学習)



平地区の小・中・高校生・その他体験を希望された団体を対象に、社会福祉への関心と理解を深めることを目的に福祉体験学習を行いました。

参加者は、高齢者疑似体験・車いす体験・視覚障がい(盲導犬・点字)体験・手話体験などを通じて、生まれ育った地域で安心して、楽しく生活するためには、みんなで“助け合う”ことや“声を掛け合う”ことが大切だと学びました。

◇詳しくは、平地区協議会 ☎22-6441まで

◆四倉地区協議会 (高齢者ふれあいの集い)



高齢者の社会参加を促し、地域住民との交流を深めることを目的に四倉公民館で開催し、当日は約300名が参加しました。

参加者は、四倉中学校吹奏楽部による演奏や若松文夫先生による懐かしのメロディーなどを楽しみ、婦人会手づくりの豚汁を食べながら交流を深めました。

◇詳しくは、四倉地区協議会 ☎32-2114代まで

◆好間地区協議会 (介護講座)



介護に関心のある方20名が参加し、介護老人福祉施設四季庵職員の方を講師に招き、介護に関する学びの場として介護講座を実施しました。

参加者は、介護保険の使い方や施設の選び方などの情報を得ることができました。今からできることは、身近にいる人にほど「ありがとう」と言葉をかける習慣をつけておくことだと学びました。

◇詳しくは、好間地区協議会 ☎36-2221代まで

◆川前地区協議会 (もちつき大会)



小白井小中学校の生徒と父兄、行政嘱託員、民生児童委員、老人クラブ会員の方々50名が参加し、地域住民の世代間交流を目的に小白井小中学校で「もちつき大会」を実施しました。

7月に小学生1名、中学生2名の転校生が入り、自然豊かな学校は全校生8名です。昔ながらの杵つきを、全員で体験して、一足早いお正月気分を味わいました。

◇詳しくは、川前地区協議会まで ☎84-2111代まで



編集後記

1月といえば、初詣や初日の出、新年のあいさつなどさまざま行事やイベントがあり、皆さんもお忙しくも、楽しい日々をお過ごしではないでしょうか？
気がつけば年も変わり、「心機一転」、今年もさまざまなことにチャレンジしてみたいか？趣味や特技、ボランティア活動など自分のことに加えて、家族、友人、ご近所さん、そして地域のために活動してみるのも良いかもしれませんね♪ 広報委員一同

皆様の声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。

住所：いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <http://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市協
ホームページ

